

レポート名

鯨船について

名前

川喜多 茉花

きっかけ

4年生では、総合学習で鯨船祭りのことを調べるから。

祭りの名前

鯨船祭り

開催日

令和7年9月27日～28日

開催地

四日市市富田地区鳥出神社



どんな祭りか

鯨船祭りは、追いかけてこのようにクジラを追いかける所と豪華な飾り付けなどが特徴の祭りです。

調べたこと

私は鯨船の歴史について調べました。

1, 鯨船の昔

鯨船は1781年「240年くらい前、江戸時代」から始まる祭りです。2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された祭りです。

2, いつから鯨を取るようになったか

約6000年前から鯨を捕獲し、食料として利用していました。

3, 漁師たちの後悔

親子鯨を捕獲した漁師たちの後悔にまつわる民話が深く関わっています。

※ユネスコ無形文化遺産とは、「重要無形文化財」指定などが国内登録の目安となり、国際的な「人類の無形文化遺産代表一覧表」に登録されます。

感想 調べていくとともに、そんなに鯨船の歴史があるとは知らなくて、とてもびっくりしました。

名前

川喜多 茉花



参考

Google ユネスコ無形文化遺産について
鳥出神社の鯨船行事・鯨船まつり ホームページ

校内発表会での取り組み

私は、プレゼングループで活動しました。プレゼングループ「担当のテーマについて調べ、プレゼンテーションを作る」ことに挑戦しました。その中でも7グループに分けて調べました。

私は、⑦の「祭りにかかわる人の想い」を調べました。インタビューをして、鯨船保存会、会長の加藤正彦さん、渡部秀男さんに話をうかがいました。加藤正彦さんにまず、「鯨船をやっていていいなと思った所は何ですか？」と質問しました。

「みんなが暑いけど頑張っている所」と答えてくれました。

次に、「暑いのになぜそんなにがんばって鯨船をやっているんですか？」と聞くと、「暑くて大変だけどこれからも富田の伝統を残していきたい」と言っていました。

最後に「鯨船はやっぱり楽しい」と言ってくれました。

次に、南島組の渡部さんに話をうかがいました。

「辛いことは何ですか？」と聞きました。

「雨が降って出来なくなること」と言っていました。

次に「楽しいことは何ですか？」と聞きました。

「みんなと協力してやること」と言っていました。

この話を聞いて、鯨船祭りに対する想いがわかり、熱心ですごいなと思いました。

感想 調べて思ったことは鯨船にかかわる人の想いとして、みんなと協力していたり、暑さ対策を考えたりしていました。いろいろな想いが伝わってきました。

名前

川喜多 茉花



写真の説明

鯨船祭りの発表会の様子

くじら船祭りの課題とこれからについて

名前

川喜多 茉花

4年生になると毎年鯨船祭りをやります。3年生のときは鯨船のことに興味を持っていませんでした。ですが、4年生になって鯨船のことを学ぶと歴史について調べたり、民話について調べることができて、興味がわいてきました。とてもいい機会になったと思います。

今、この伝統が残っているのはみんなが協力しているからだとわかりました。

最近の鯨船は人が少ないので私も参加しようと思いました。これからは、まだ知らない鯨船の秘密やすてきなところについて、もっと学んでいきたいです！

